

令和2年の管内における労働災害は150件となり、前年と比較し4件の増加となり、死亡災害は発生しませんでした。前年を上回る結果となりました。

業種別でみると製造業が全体の3割を占め、製造業の中でも食品製造業が29件と多く製造業の約6割を占めています。

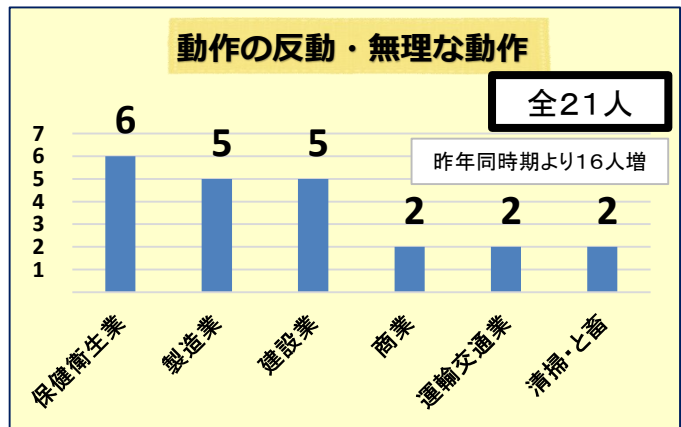
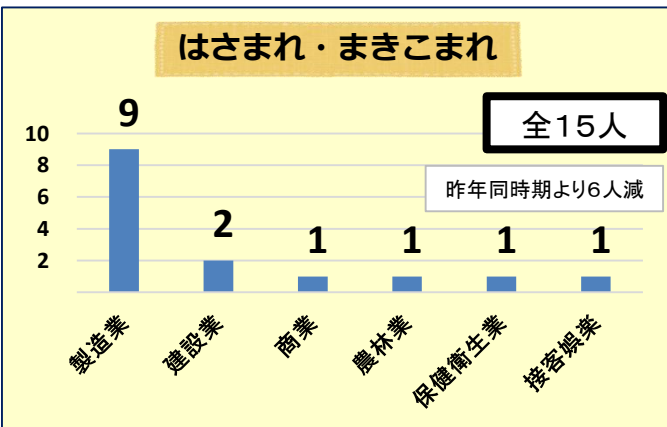
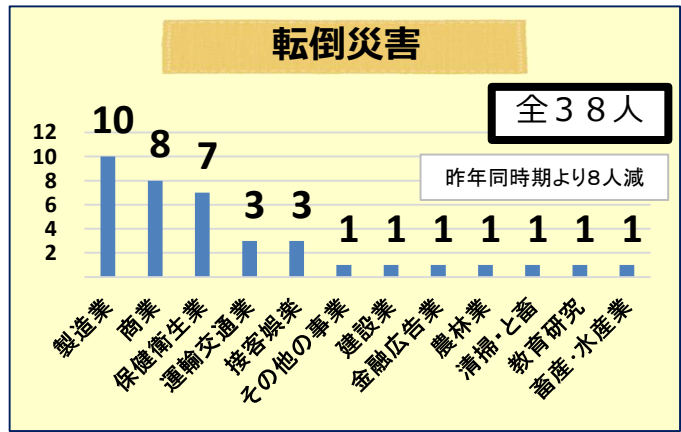
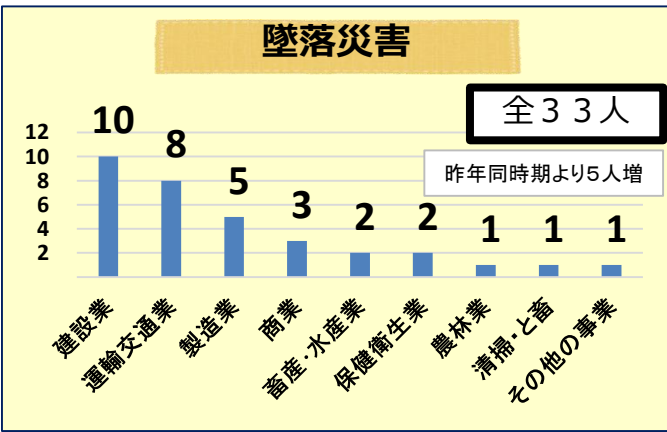
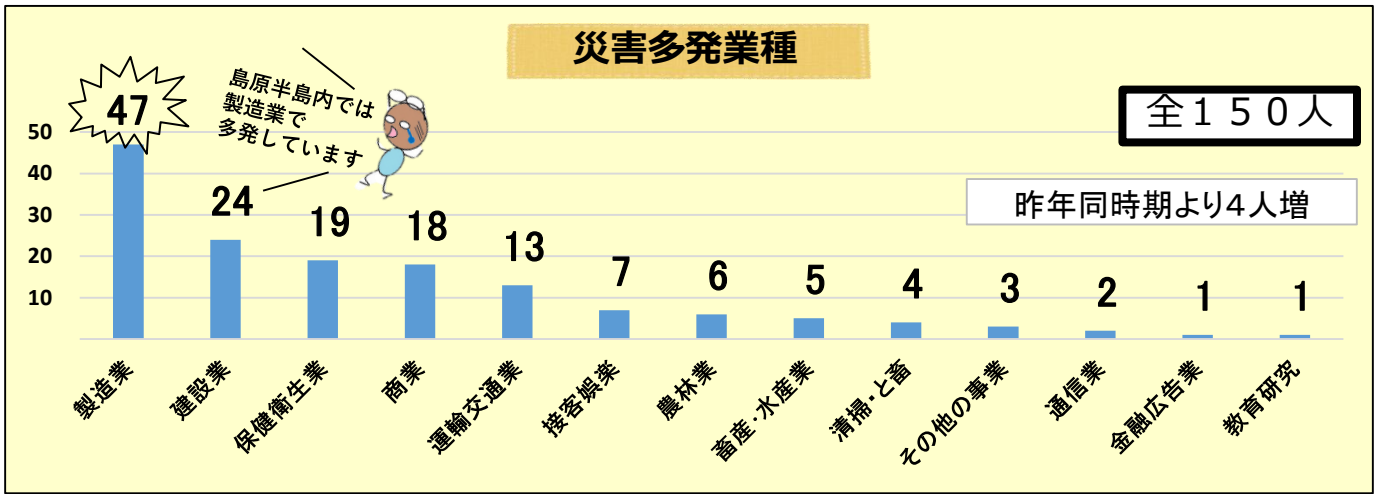
事故の型別でみると、転倒災害、墜落災害、動作の反動・無理な動作などで多く発生しています。

「墜落災害」では、高さが2m以下などで多く発生し、脚立・荷台からの墜落が見られます。

「転倒災害」では、床面での滑りや作業台などに躓いて転倒に至っている災害が見られます。

「挟まれ・巻き込まれ」では、ベルトコンベヤーなど稼働している個所に手指を挿入し負傷する災害が見られます。

「動作の反動・無理な動作」では、重量物を扱う際、不自然な姿勢で作業を行った際、腰などを痛める災害が多くみられます。



STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

～熱中症予防対策の徹底を!～

職場における熱中症では、毎年約20人が亡くなっています。
「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防対策に取り組みましょう。

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1 □ **WBGT値の把握**
JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。

STEP 2 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

□ WBGT値を下げるための設備の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。	
□ 休憩場所の整備	休憩場所には水、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
□ 通気性の良い服装など		
□ 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
□ 熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です!	
□ 水分・塩分の摂取	のどが潤いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
□ ブレーキング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
□ 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
□ 日常の健康管理など	前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的な症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。	
□ 労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。	

STEP 3 熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

<ul style="list-style-type: none"> □ WBGT値の低減対策は実施されているか □ 各労働者が暑さに慣れているか □ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか □ 各労働者の体調は問題ないか □ 作業の中止や中断をさせなくてよいか 	<p>□ 異常時の措置 ～少しでも異常を感じたら～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いったん作業を離れる ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない
--	---

熱中症の症状と分類

I 度	めまい・失神、筋肉痛・硬直、大量の発汗
II 度	頭痛・不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感
III 度	意識障害・けいれん・手足の運動障害、高体温

注意

熱中症は、重篤化し死亡に至る事例も後を絶ちません。新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、熱中症予防措置を講じましょう。

長崎労働局 クールワーク



注意

島原半島では転倒災害が多く発生し、中でも高年齢労働者の災害が増加しています。高年齢労働者に配慮ある職場づくりを行いましょう。

長崎労働局 転倒セルフ

